

同窓会

の

チカラ

同窓会のための情報誌

2024

紹介●同窓会活動紹介

- ・しなやかな応援団：一般財団法人 慶應義塾高等学校同窓会
- ・走れ！鎌高同窓会：神奈川県立鎌倉高等学校同窓会（潮会）
- ・先輩！助けてください！！：武蔵丘同窓会

リレー連載 ● 私と同窓会

- ・森下 表（高知学芸高等学校同窓会副会長・事務局）

紹介●同窓会活動紹介

- ・就職道しるべ：大阪府立天王寺高等学校同窓会
わが学び舎
- ・兵庫県立柏原高等学校同窓会

Our Brand

柏陵記念館（旧・柏原尋常中学校本館／兵庫県立柏原高等学校敷地内）
1897年（明治30年）竣工 木造平屋建、寄棟、棧瓦葺、外壁は下見板張。
明治時代に建てられた木造洋風学校建築の遺構として貴重な存在。国指定登録有形文化財（建造物）

Vol. 16

しなやかな応援団

一般財団法人 慶應義塾高等学校同窓会

真に学生に寄り添う
きめ細かな同窓会活動を求めて



同窓会会報誌『JK』

慶應義塾高等学校は、戦後の昭和23年の学制改革で誕生した、慶應義塾第一高等学校と第二高等学校を翌24年に統合して発足しました。以来今日まで多くの人材を世に送り続けています。

現在は1学年18組でおよそ720名、全校で約2200名という大きな組織ですが、不思議なことに、同窓会が出来たのは昭和55年（1980）のことで、当時は卒業生の名簿すらなく、活動の基本となる塾員の名簿作りから開始したと聞いております。いかにものんびりとした話ですが、慶應義塾高等学校は普通部・中等部からの内部進学者が多く、またここから慶應義塾大学に進学する内部進学者も90%を超えていることから、いきおい、高等学校が「通過点」と見なされる傾向にあったのは事実です。そのせいで、大学の三田会で事足りると思われていたのかもしれませんが。

同窓会活動の発展と法人格の取得

現在では55000名を超える塾員が登録されています。塾高同窓会の活動は、他の同窓会さんと同じで実に多岐に渡ります。基本には塾員のデータ管理がありますが、それとともに塾員に対する情報媒体として同窓会会報誌『JK』を年一回発行しています。部数は5万部で、通常本文十表紙で90頁もあります。この編集・制作は塾高のネットワークをフルに活用して、専門スタッフに依頼しています。このように発行部数はかなりの数になりますから、制作費はもちろん郵送費も馬鹿になりません。ただ、同窓会会報誌というのは、ネットでの情報伝達が一般となった今でも、母校と

の絆を確認し、塾員の近況を知る優れた手段だと思われず、塾生と塾員を精神的に結びつけ、定期的に消息を知るマイルストーンのようなものだと考えています。

そうして同窓会設立から30年たった平成22年（2010）、それまで代表個人の名前で内外部に対し接していたのを、同窓会活動の規模の拡大にふさわしく法人化すべしという意見があり法人格を取得、一般財団法人として新たなスタートを切り、今日に至っております。

部活に対する支援と塾員の結束

同窓会のもう一つの役割は母校の支援ですが、中でも「部活」は大きな割合を占めています。通常は「部のOB」が塾生の面倒を見ますが、例えば団体スポーツなどでは、主に経済面で同窓会に支援を求めるケースがあります。予算は競技の内容によるものの、全国大会ともなると相当な額になります。令和5年（2023）の「全国高等学校野球選手権大会」いわゆる夏の甲子園では、お陰様で優勝の栄に浴すことができました。これへの同窓会の支援の原資は主に寄付金で、幸いこれまで培った卒業生からの強力な支援がありました。当然のことながら無駄と贅沢はできません。例えば地方大会などでも選手部員が貸切バスで球場まで行くなどということはありませぬ。普段から全部電車です。

甲子園が決まると、次の問題は予算です。大会に赴くのは、選手・スタッフ合わせて200人にもなります。高野連から出る旅費と宿泊費だけでは到底足りませぬ。このとき、同窓会のネットワークが果たし

た役割は決して小さくはなかったと思います。

きめ細かな同窓会活動を目指して

私（村田）は、平成2年から同窓会第三代会長を6年間勤め、その後は顧問および同窓会事務局長として現在に至っています。会長時代も現在も、同窓会の最も大きな問題は「お金」であると認識しております。同窓会は新卒業生の入会金と寄付で賄っているわけですが、令和5年の夏の甲子園のように、莫大な費用のかかる出来事に臨んだとき、殊に塾員の結束力の強さを感じます。甲子園をめぐってはいろいろなことがありました。今回、同窓会が呼びかけるより先に、OBがヒートアップし、ご存知のような大応援団になっていったんですね。また三田会の関連で企業からのサポートもあり、先人たちの築いてきた同窓会への「心の積み重ね」に対して感謝するとともに、これを次代へと継承していかなくてはならないと思っています。

もちろん同窓会の活動は、部活の支援ばかりではありません。受験の心配がないということからその時間を利用して、普通の教科では得られない、様々な先輩の話聞き直接質問をして将来の何らかの糧にして貰おうと、2011年から年に一度「将来展望講座」という講座を放課後に開催しています。

また2015年からは「公認会計士入門講座」を開始し、3級相当の講座を年に2回開催しております。これに刺激され、高校在学中にその資格を取る者も稀にあり、受講した多くの者は大学に進学後に相当

※塾員（じゅくいん）：慶應義塾高等学校の卒業生をこのように呼んでいる。在校生は塾生（じゅくせい）と呼ばれる。
塾高（じゅくこう）：慶應義塾高等学校のこと。



●問い合わせ先
 一般財団法人 慶應義塾高等学校同窓会
 〒 223-8524 横浜市港北区日吉 4-1-2
 TEL 045-566-1401 (ダイヤルイン) / FAX 045-566-1378
 E-mail : info@jukuko.jp / HP : www.jukuko.jp



右：村田 作彌 (むらた・さくや) 氏
 (第3代会長・高12期)
 慶應義塾高等学校同窓会顧問・事務局長
 左：野田 和敬 (のだ・かずひろ) 氏 (高25期)
 慶應義塾高等学校同窓会事務局

慶應義塾高等学校 将来展望講座 「塾高での学び—社会での仕事」
 開講の趣旨

「学問の目的は、知識、教養の範囲を広げ、物事の道理をつかみ、人としての役割を知ることにある」(『学問のすすめ』第二編)と福澤先生は教えられました。
 慶應義塾高校に学ぶ生徒は、高校を卒業すると入学試験を受けることなく、そのまま大学に進学することが許されます。進学の際には各学部の内容、大学生活の意味について、数多くの情報が提供されますが、残念ながら、それらが生徒自身の将来を考える素材に十分至らないのが現状です。生徒の多くは、自身の人間としての成長についてあまり考えることなく、漠然と就職に有利な学部選別に終始

数受験・合格しているようです。(コロナ禍以降は、ガイダンス以外は視聴での講義が多用されています。)
 2023年からは新たに卒業生の関連する企業でのインターシッププログラム、様々な経歴のOBとの対話・メンターシップを夏休みを利用して行うなどの企画もスタートさせました。
 私たち塾高同窓会は、このように、塾生の将来のことに対してもしっかりと目を配りし対応できる、「しなやかなサポート」を常に目指しています。■

します。学校での生活が、実際に社会のなかでどのような意味を持つのか、社会で活躍されている方から、生きたことばをいただき、生徒たちにインパクトを与えることがぜひ必要と考えます。
 このような視点から、生徒たちと同じ環境で学んだ経験のある卒業生を通して、実体験を踏まえたお話を聞く機会を設定する考えに至りました。塾高ではこうした試みを含め慶應義塾の目指す教育、
 ①【社会的先導者の育成】
 ②【総合的な人間教育】
 の達成のために、今後とも最大限の努力をしてゆく所存であります。



将来展望講座 講演者一覧表 「塾高での学び—社会での仕事」

回	氏名	卒期	講演当時の職業	開催日	場所	テーマ	受講数
1	岸井 成格	14期	毎日新聞社 主筆	2011.12.9	来往舎 1階	『凄惨時代』生きる塾高生たちへ 好奇心を忘れずに アンテナを高く!	140
2	英 正道	3期	公益財団法人日伊協会 名誉会長	2012.12.6	来往舎 1階	「君たちの未来、日本の未来」	120
3	小林 正忠	41期	楽天(株) 常務執行役員・ 米州本社社長	2013.12.6	来往舎 1階	「人生の主人公はいつも自分!」	180
4	玉塚 元一	41期	(株) ローソン 代表取締役社長	2014.12.5	来往舎 1階	「学びの共有 リーダーの役割」	200
5	永山 治	17期	中外製薬(株) 代表取締役会長 ソニー(株) 取締役会議長	2015.12.16	協生館 2階 藤原記念ホール	「医薬品業界から見た 世界のビジネスとこれからの日本」	140
6	星野 佳路	30期	星野リゾート 代表	2016.12.20	協生館 2階 藤原記念ホール	「世界で通用する人材の5条件」	240
7	田沼 千秋	21期	(株) グリーンハウス 代表取締役社長	2017.12.13	来往舎 1階	慶應日吉から世界へ〜グローバルなつながりで羽ばたく未来〜	140
8	向井 万起男	17期	医学博士(病理学) ・エッセイスト	2018.12.12	協育ホール	「海外を知る意味」〜アメリカで走り続けて〜	200
9	永野 毅	22期	東京海上ホールディングス 取締役会長	2019.12.12	協育ホール	Sense of Purpose 〜今、君たちに伝えたいこと〜	250
10	福山 敦士	58期	作家 キャリア教育研究者	2020.12.9	協育ホール&コミュニ ケーションラウンジ	未来からの留学生に贈る これまでの優等生 これからの優等生 〜平凡な塾高生のための逆転術〜	160
11	近藤正晃 ジェームス	37期	国際文化会館理事長 慶應義塾大学医学部訪問教授 前 Twitter Japan 代表取締役会長	2021.12.8	協育ホール& B棟会議室	未来を創る仕事	300
12	佐々木 靖	40期	ボストンコンサルティンググループ (BCG) 日本支社長兼北東アジア 総責任者	2022.12.6	協育ホール	塾高生よ、変革のリーダーたれ	170
13	三毛 兼承	26期	三菱UFJフィナンシャル・グループ 会長	2023.12.14	協育ホール	バンカーから塾高生へのメッセージ 〜自分の未来を創るためのヒント〜	350

走れ！ 鎌高同窓会

うしお
神奈川県立鎌倉高等学校同窓会（潮会）

会費納入者への返礼品の導入と
会報誌のデジタル化による同窓会の活性化



◀同窓会会報「うしお」

●神奈川県立鎌倉高等学校同窓会・潮会では、他の同窓会と同様、会員の納入する協賛金収入を基として毎年会報を発行し、これまで会員相互の親睦と交流の結び目として活動してきた。それが近年、協賛金の入金が急激に減少し、活動に少なからぬ影響を及ぼすことがわかり、これの原因を分析すると同時に活動の見直しに着手、最終的に大改革に至ったという。その一連の出来事と同窓会としての対策を、同窓会長の渡辺晃氏と同窓会書記の奥村砂智子氏に伺った。

協賛金の急激な減少の原因として考えられるのは「芳名録」をめぐる議論とその結果としての措置にあると思います。もともと会報では4ページほど割いて協賛金を振り込んで下さった方々のお名前を記した「協賛者芳名録」を掲載していました。それもあつてか、毎年1200名ほどの会員から協賛金をいただいております。

こうした中、個人情報保護法の施行と、個人情報に対する意識の高まりに、「芳名録」を掲載するのであれば、その一人ひとりから掲載可否の意思確認をとるべきだ」とする意見が各方面から出され、協議の結果、2017年度の会報37号を最後に芳名録の掲載を終えることとなりました。この間の経緯については、翌2018年度の会報38号に「鎌倉高校同窓会『潮会』の現状と課題」として、「芳名録の掲載中止とその理由を説明した記事」を掲載しました。そこには、個人情報問題に加え、予算的に厳しい同窓会の現状を述べ、ページ数の削減という意味があつたことも記してあります。その代わりに、会報の表紙の絵をそのまま

使った「絵葉書」を「返礼品」として送ることとし、それは現在まで続いています。

さあどうする？

その結果、確かに「芳名録」の掲載に充てていた4ページの経費は削減されましたが、それはわずかなもので、それ以上に協賛金収入の減少の方が大きい。何しろこれまでの収入の4分の1がなくなつたのですから大変です。同窓会員と母校、さらに同窓会員同士の絆であり、互いの消息を知る上で重要な位置を占める同窓会と同窓会報のあり方、そのために必要な協賛金収入の回復と従前以上の収入増に繋げる方策について、役員、関係者、他の方々の間で様々な議論が繰り返行われました。

私たちが考えたのは、とにかくできることから着手しようということです。そして、その中から出てきたのが以下の幾つかの方法です。

1 返礼品の導入とその内容

最初に考えたのは「ふるさと納税」のアイデアにヒントを得た協賛者への「返礼品」の贈呈です。これは内容によって二種類に分けました。



▲手拭い「KAMAKURA」／MASMIC 寿

中央部の明るい緑の部分にGOOD OLD DAYSのパナールと共に鎌高の絵が描かれている。

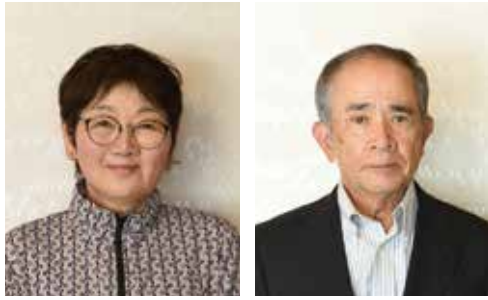


▲絵葉書

「七里ヶ浜から見た江ノ電・鎌倉高校前駅」

- ①協賛者への返礼（2018年から実施）
規定の年会費3000円を納めてくれた方に対しての返礼。
- ②特別協賛者への返礼
年会費+寄付で1万円以上を納めてくれた方に対しての返礼。

「協賛者への返礼」としては会報「うしお」の表紙を飾った絵を用いた絵葉書をお送りしています。この絵は鎌倉高校卒業生のアーティスト丸山晶子氏によるものです。また「特別協賛者への返礼」としては、やはり卒業生で鎌倉の名所をデザインした版画家／図案家・磯崎眞澄氏の手ぬぐいの



右・渡辺 晃（わたなべ・あきら）氏（高23 回生）
 県立鎌倉高等学校同窓会（潮会）会長／野球部OB 会会長
 左・奥村 砂智子（おくむら・さちこ）氏（高27 回生）
 県立鎌倉高等学校同窓会（潮会）書記・総務 & 会報誌担当



▲鎌倉高等学校

アート作品「KAMAKURA」をお送りしています。磯崎氏は奥村の同級生で、もともと同期会の際に配っていたのですが、他学年の会員からもリクエストがあったことから今回提案したものです。返礼品については今後どのように展開してゆくか、会員の声を聞きながら鎌高らしい返礼品を見つめたいと考えています。

2 納付方法の多様化

従来、協賛金の納付は郵便局を中心に行われてきましたが、これにコンビニ納付を加えたことで、大幅に収入額が増えた実績があります。現在ではスマホでの納付も導入しており、特に若い会員に、スマホでの簡便な方法をアピールしたいですね。

3 ダイジェスト版の発行と 会報のハイブリッド化

増収を図る活動の一方で、活動の経費を見直し、新しい形態を模索する議論も続けられました。特に経費のかなりの部分を費やす「同窓会報」のあり方を検討し、どうしたら内容と質を変えずに製作コストを下げられるか、という「支出」の面からの議論が中心となったのは当然の成り行きだったと思います。経費だけに注目すれば、会報のデジタル化がベストの選択でしょうが、それでは一方通行の「情報伝達」と変わらず、そもそも同窓会の精神にそぐわないと思います。実際、会員の多くは毎年届く「会報」を楽しみにしておられます。こうした状況下で私たちが採った方法は「会報のハイブリッド化」です。まずこれまで通り会報を作成しこれを「電子ブック」

に変換、同窓会のHPにアップロードします。次に、会報の「ダイジェスト版」を4ページほどの印刷物として作成、他の連絡事項や振込用紙などと共に全会員に郵送します。会報の全体は、HP上で、バックナンバーを含めいつでも閲覧・ダウンロードできます。

このやり方ですと、会報の完全デジタル化ほどではないにせよ、かなりの経費節減が期待できます。もちろん結果はやってみなくては分かりませんが、ともかくこれを最良手と信じ、これからの同窓会報の新しい在り方としてスタートしたわけです。

会報本体のデジタル化の結果は、経済的には大きな進展でした。加えて「潮会HP」へのアクセス数が大幅に増えましたし、心配していた「会報のデジタル化」批判などもなく、むしろ嬉しいことに、読者である会員から、地域の情報紹介や、同窓会のお手伝いをしてほしい、というようなメッセージが多数届いています。今後、意見や提案など、さまざまな情報が増えることで、同窓会員相互の交流や同窓会の活動もより活発になり、同窓会の発展の基礎として機能してくれるものと期待しています。

同窓会名簿が作り出す

副産物と新たな絆の結び方

神奈川県立鎌倉高等学校は平成30年に創立90周年を迎えました。これを記念して、創立90周年記念誌」を発行、その後来たる百周年に向けて同窓会名簿である「潮会名簿」の製作に着手、同窓会役員や会員の力を結集し令和3年3月に完成しました。同窓会名簿の作成は30年ぶりのことで、同窓会と

しては一連の作業で得た経験や各方面との繋がりなども、同窓会活動を活性化させる大きな糧となったと認識しています。

同窓会名簿を作成する際、常に問題になるのは所在不明者の取り扱いです。住所や電話番号などを調べるには、それなりの経費やノウハウが必要ですから、そうした調査やデータの整備は専門の会社に依頼します。同窓会として重要なことは、正確な名簿が手に入ることで、そしてそれを頼りに会員にコンタクト出来るようになること、つまりは同窓会への関心を持ってもらう大きな契機になり得ることにあります。今回の名簿のリニューアル後、協賛金の納付が目立って増えた事実もあります。これも、健全な同窓会運営の基本である予算確保への好循環の一つだと言えるでしょう。

これからの本音の

同窓会のチカラの見せ所

デジタル化した同窓会報は、紙の時代と同様に一度の更新です。また、情報の更新は同窓会のHPを随時活用しています。

一方、そのためにはパソコンを使い、同窓会に関連するさまざまな情報をまとめ、リリースする必要があります。今後はそうしたスキルを有した方の積極的な協力が必要ですし、男女を問わず意欲のある方の役員就任や、各種の協力の依頼を幅広く進めていくべきでしょう。

なり手がいないといわれる同窓会役員ですが、経済的にも安定的な見通しがある今活躍する場としていかに魅力的な世界を創れるか。これからの鎌高同窓会は、役員やる気次第で大きく飛躍できると考えています。■



先輩! 助けてください!!

むさしがおか

武蔵丘同窓会

東京府立第二十一中学校 / 東京都立武蔵中学校 / 東京都立武蔵丘高等学校

部活動支援を通して卒業生と在校生を繋ぐ



右から、

石川 憲一 (いしかわ・けんいち) 氏 (高20回生) / 前副会長

粟田 敦子 (あわた・あつこ) 氏 (高28回生)

米川 育子 (よねかわ・いくこ) 氏 (高41回生)

山本 美知留 (やまもと・みちる) 氏 (高37回生) / 現幹事長

●武蔵丘同窓会では令和4年(2022)、在校生のうち1・2年生、計600名を対象に「部活動をする時にあったらいいモノ、是非欲しいモノ」を問う無記名の二斉アンケートを行なった。これは母校支援活動の一環であり、同窓会の存在とその意義を示すためのものでもあった。一体どのような展開を見せ、どのような結果を得たのか、このユニークな取り組みの実際を同窓会のみなさんに伺った。

私たち武蔵丘同窓会は2022年に役員を刷新し世代交代を行いました。今後若い世代の会員にもっと参画してもらおうためには、世代の近い方々に考えてもらおうことが良いのではとの判断でもありました。

そうしたところ、やはり今までにない意見やアイデアが生まれ、期待していた通りの結果となりました。若い世代の会員に対する主な意見としては、そもそも同窓会の存在を知っているのか? 同窓会は、集まって飲んでいるだけの親睦団体と思っていないか? 母校支援などの活動内容をどこまで理解しているか? などがありました。

そんな時、事務局の米川氏から「まずは現役の生徒たちに同窓会をもっと知ってもらいましょう。その上でどんな支援が必要なのか、直接聞いてみたら良いのでは?」との意見が出され、学校の協力を得てアンケートを実施することにしました。アンケートの実施概要は以下の通りです。

・実施時期 / 2022年10月
・対象者 / 1・2年生の生徒全員(約600名) ※3年生は部活を引退していることに加えて受験時期のため今回は対象外。

- ・実施場所 / ショートHRの時間を活用し各担任から用紙を配布、その場で回収。
- ・設問内容 / 「武蔵丘の卒業生で構成される『武蔵丘同窓会』をご存じでしょうか? 同窓会は現役のみなさんの力になりたいと思っています。ついでに皆さんが高校生活や部活動などでお困りのこと、必要な物を教えてください」といった内容。
- ・記入は無記名とするが、必要な物を書く場合には部活動名を記入してもらおう。

その結果、約80%の回答があり、23の部活から79項目のリクエストが集まりました。

これまで「部活動支援金」「夏期講習支援金」などといった資金的な面にばかり意識が向いていて、物的な支援については考えていなかったのですが、今回現役の生徒たちが何を必要としているのかを知ることができ、同窓会としても非常に大きな成果を得ることができました。

これらのアンケートの結果は、2023年5月に発行した同窓会誌「銀杏」に掲載し、同窓会員に発送しました。初めての試みでもあり、希望する全ての物が支援されたわけではありませんが、吹奏楽部には「楽器ケース」、音楽部には「キーボードが2台」、茶道部には「茶道具一式」などの支援があり、生徒たちも喜んでくれました。中でも、文芸部が希望していた「家庭用プラネタリウム」に対して、会員の一人から「希望の物ではないが・・・」と言いつつ「大型天体望遠鏡(未使用品)」が支援された時に受け取った生徒たちが大喜びしてくれたことは強く印象に残っています。

今回支援されなかった物は、同窓会のHPにアップするなど継続して支援を求めています。また次号の同窓会誌には、支援された物と受け取った生徒たちの喜びの声を掲載し、さらなる支援の輪を広げていくとともに、引き続きアンケートを毎年実施していきながら生徒たちに同窓会の存在意義を知ってもらおう機会を作りたいと考えています。さらには今後、クラウドファンディングを活用した支援策なども模索していきたいと思えます。

いずれにしてもこの新たな取り組みが、現役の生徒たちに同窓会を知ってもらい、先輩から受けた支援を将来後輩たちに返して、バトンを繋いでいく良い循環になることを期待しています。■

●連絡先・武蔵丘同窓会事務局

〒165-0031 東京都中野区上鷺宮 2-14-1

TEL : 03-3926-6834

E-mail : musako@jade.dti.ne.jp

HP : <https://www.musakou.com>



▲文化祭の同窓会ブースで作成し、配布した「ミニ色鉛筆」

◀同窓会誌「銀杏(いちょう)」

再始動!
歩きだそう!!



●問い合わせ先
高知学芸高等学校同窓会事務局
〒780-8084 高知県高知市横山町11-12
TEL 088-844-1831 / FAX 088-840-3236
E-mail: gakupei@kochi-gakugei.ed.jp
URL: http://www.kochi-gakugei.jp

私と同窓会

高知学芸高等学校同窓会 森下 表

絆を育み、過去から未来へ続く架け橋



森下表（もりした・おもて）氏
高知学芸高等学校同窓会副会長・事務局

わが母校私立高知学芸高等学校は、1957（昭和32）年創立され、250人（1期生といえます）が入学しスタートしました。1960年には中学校を併設しました。2017（平成29）年には創立60周年を迎え現在2024（令和6）年3月には卒業生22334人に至っています。

本校同窓会は、1960（昭和35）年3月に会員相互の親睦と各自の向上発展をはかり、あわせて母校の発展に貢献することを目的に発足しました。初代同窓会会長は初代校長の岡崎鹿衛先生が就任されました。1962（昭和37）年8月には、第1回同窓会総会が、2代校長嶋村吉雄先生兼2代同窓会会長のもとで開催されました。3代会長からは、卒業生が会長に就任して現在に至っています。

私が同窓会に関わったのは母校を卒業した後、母校の教員をしている時に総会で前任者から引き継ぎ選出されたことに始まります。それは、同窓会の役員（同窓会副会長・事務局）で、1994（平成6）年8月のことでした。この文章の依頼を受けて改めて同窓会との関わりを考えてみました。

今年の8月で3人の同窓会会長の下で30年になります。私が就任した頃の同窓会は、卒業生もまだ若くOBOGの集う同窓会も年1回の総会と卒業した学年（わが同窓会では何期という言い方を使います）の同窓会の集まりが中心として行われている程度で、地域の組織も少なく支部としては関東支部1支部しかない状況でした。そういう中で卒業生がある程度の年を重ね

同窓生たちの交流を考えるようになり、更に6代森木弘道同窓会会長、7代西川博行現同窓会会長の同窓生の輪を広げる活動に私自身が共にかかわって、同窓会は大きく発展してきました。私もこれに少しでも貢献できたことに嬉しく思っています。現在では、卒業生の役員は1期生から今春に卒業した65期生の役員（「期幹事」、関東支部をスタートに支部が、県外に6支部、県内に9支部、外国に1支部、同じ仕事の集まりの「職場会」としては15団体、クラブOB会として15団体と大きな組織になってきています。母校は、私立学校ということもあり、他の学校への転動もなく校内（学芸中学校・学芸高等学校・高知学芸進学アカデミー（大学受験科 現在は閉館）での移動のみで、長く同窓会役員を務めることが出来き、同窓会の発展に微力ながらお手伝いできました。今では、教え子の子どもさんも教えるようになり、更に同窓会の期幹事を親子でやって貰っていています。同窓会の役員として、やってこれた事としては、総会の運営、支部や各期との連絡など同窓生の親睦を図るための仕事のほかに、年1回発行の同窓会の会報誌「BOX学芸」の編集にも携わってることができました。6代森木会長の発想から1995（平成7）年8月発行から始まったもので、編集長のもので「BOX学芸」事務局としてずっと携わってきました。そして、今では同窓生全員に発送しており、今年7月の発行で第30号になります。

同窓会名簿の作成に当たっては、サラトの方には感謝しています。最初は同窓会についての歴史・運営などきちんとした記録

が無くて、学校にバラバラで保管されていました。このままではいけないと思い自分が役員の間にまとめて残そうと考えて、残っている記録を確認して活動記録を作り同窓会名簿に「同窓会の歴史」として平成10年度発行の名簿から記録を始めました。サラトさんのご協力で感謝しています。更に、同窓会のホームページを初めは業者に委託していたのですが、パソコンに強い同窓生が高知県に帰省したのを機に、協力して自分たちで同窓生や在校生たちの活躍を掲載しています。皆さんのご協力のお陰で同窓会は大きく発展してきました。私も微力ながら役員として携わってこれたことに感謝しています。

非常勤講師になって2年目になります。が、もう少し同窓会役員を続け同窓会の発展に少しでも貢献していきたいと思っております。■



同窓会の会報誌『BOX 学芸』

就職道しるべ

～学生・OB/OG 交流会～

大阪府立天王寺高等学校同窓会

若手同窓会員を呼び込む新たな取り組み

▲同窓会報

『桃陰だより 天高 120 周年記念臨時号』
[2015 年 10 月発行]



●大阪府立天王寺高等学校（以下・天高）は、2026年に創立130周年を迎える府下トップクラスの難関大学進学率を誇る公立高校である。同窓会活動にも非常に多くの同窓生が参加し盛り上がっている一方で、他校同様「若い世代の同窓会離れ」というカベが長年の課題であった。そこで、この課題を克服するために若手会員との関係強化を図ろうと2019年から新たな企画「就職道しるべ」学生・OB/OG交流会」をスタートさせた。一体どのような企画なのか、その実態と推移の中心人物である就職道しるべ世話役（同窓会・組織委員長そごうの十河基文氏（33期）に伺った。

ミッシェン
「若い世代の会員を呼び込め」
そもそものきっかけは、2019年、同窓会前会長から「ちよと手伝つてもらいたいことがある」と声がかかったことでした。若い同窓会員を呼び込むための企画を考えているとのこと、詳細な具体策の企画と実施をやってほしいという内容だったように記憶しています。

もともと私自身、大学の学部同窓会の副会長をしていたため、常々「若い世代の同窓会離れ」には苦勞をしており、「高校も同じなんだ」と思い、一般的な就職活動を自分自身はしていないものの引き受けることにしました。

同窓会長からはおおよそのアウトラインを聞いていたので、この企画を成功させるためには具体的に何をすれば良いか、いろいろとアイデアを考えながら内容を詰めていきました。いずれにしても、参加する若い

同窓生にとってメリットを感じてもらえる内容にすることを第一に考えました。

企画の立案から実施へ

企画の概要は、就活直前あるいは就活真只中の同窓生を対象として、相談役の話し手は、社会人5～15年目の同窓生と最初の試みとして就活終了直後の同窓生を募りました。

第一回目は、就活終了直後の同窓生に「こうして就活を乗り切った!」というテーマでパネルディスカッションを行ってもらい、その後社会人5～15年目の先輩同窓生に「仕事・会社・業界」についての2分間スピーチさらにグループに分かれてのテーブルトークへと流れていくこととしました。

さて開催時期ですが、第一回目ということもあり、同窓会総会・懇親会当日の秋の11月に開催することにしました。総会会場の隣の一室を借り、総会の前に開催すれば終了後そのままの流れで総会・懇親会にも参加でき同窓会を身近に感じてもらえると思っただけです。

あとはこの企画をどのように広報していきます、学生さんや社会人を集めるかなのですが、幸いにも同窓会は年2回会報誌（春・三三版、秋・会報）を発行しており、タイミング良く2019年の春号と秋号に新企画としてお知らせしました。ただ、会報を送ったからといってみんなが、特に若い同窓生が読んでいるとは思えず、募集対象となる同窓生に一人でも多く知ってもらうため、学校の先生方（同窓教諭）の協力で教えた子たちに声をかけてもらい参加者を募りました。

その甲斐もあって、当日話し手は様々な業界から約15名が参加してくれ、聞き手も20名強の就活生が集まりました。2時間半があつという間に過ぎ、参加者からも高評価をいただきました。ただ一方で、次回に向けた課題もいくつかありました。

一つ目は、開催の時期です。秋では就活には遅すぎます。また今時はインターンシップも考えないといけません。しかし一方で、高校の年間予定が確定するのも新年度になる4月以降となり、そこに広報・公募の期間を考え、また帰省のことも考慮しないといけません。そこで大学2年生、3年生と2回参加してもらおうと思い、膝を付き合わせて話をする時期を帰省も加味して8月のお盆前後に変更することとしました。

二つ目は、開催場所です。開催時期が総会当日でないのであれば、ホテルの一室を借りなくても良いだろうと考え、少しでもコストをかけないように貸会議室を利用することにしました。

そして三つ目は、小委員会の発足です。同窓会長、副会長、事務局の協力を得て、第一回目は成功しましたが、やはり専属的なスタッフの必要性を感じたため、正副会長会議で承認を得て発足することになりました。これらの課題を解決して臨んだ翌年



▲第1回・就職道しるべ2019



●連絡先

〒 545-0005 大阪府大阪市阿倍野区三好町 2-4-23
大阪府立天王寺高等学校同窓会
TEL : 06-6629-6801 / FAX : 06-6629-4889



十河 基文 (そごう・もとふみ) 氏 (高 33 期)
組織委員会内「就職道するべ小委員会」委員長



▲第 2 回・就職道するべ 2021
総会同日はあわただしいので 8 月の夏休みに Web 開催のワーキング

進化する企画

の第 2 回目ですが、新型コロナウイルス流行の影響で残念ながら開催を断念しました。

翌 2021 年は、引き続き新型コロナウイルス流行の影響でリアル開催はできませんでしたが、ZOOM によるリモート形式で第 2 回目を開催しました。

参加人数はそれほど多くは無かったので、その分密度の濃い 2 時間を聞き手話し手とも過ごせたとの感想を得て、開催できたことを嬉しく思いました。

第 3 回目となる 2022 年は、過去 2 回の経験から企画をバージョンアップさせ 2 回シリーズとして開催することにしました。

1 回目は「セミナー編」として、就活生の 10 歳ほど年上となる某企業の人事部に勤める若手同窓生をスピーカーに招き、「就職にあたり人事は何を見ているのか?」というテーマで 7 月にウェビナーを開催しました。

2 回目は、1 カ月後の 8 月に「ワークショップ編」として開催、例年通り「話し手」を 5 ～ 10 年目の社会人 O B / O G を中心にグループに分け、実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、「ワークショップ編」もまたリアル開催とはゆかず、結果として ZOOM での開催を余儀なくされました。しかし 2 回シリーズとしての新たな企画はとも高評価を得ました。

そして新型コロナウイルスの流行も落ち着きを見せ、日常生活に戻ってきた 2023 年、第 3 回目と同様のプログラムで 4 回目の就職道するべを開催しました。ワークショップ編

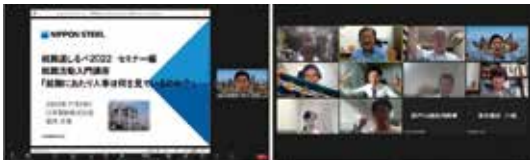
では、2019 年以来待ちに待ったリアル開催が実現でき、会場は天王寺高校内の教室を借りて行いました。今回会場を母校に変更したことは非常に良かったと思います。話し手、聞き手とも久々に学び舎の母校を訪れたことを喜んでくれました。またワークショップ終了後は、学校から居酒屋に会場を移し、話し足りなかつたことや同窓との交流を深めるアフターミーティングに花を咲かせました。

参加者が本当に喜んでくれる姿をリアルに見ることが出来たのは、主催する者として非常に嬉しくやがいを感じています。

そして新たなステップへ

今後の展望としては、まずはこの企画を定着させ永続的な事業に育てていきたいと考えています。そのためには広く認知してもらい必要があるとあります。会報誌には毎回開催レポートとして実施報告とともに参加

者(聞き手・話し手)からの感想を掲載し、次回参加への促進を図っています。また今後の取り組みとして、卒業前の生徒さんに会誌を配ったり、各教室に会報誌を置いて担任の先生から在学時に紹介してもらえれば卒業後大学に進学した後も会報を見る習慣が身につく、当該学年になった時、就職道するべに積極的に参加してもらえないのではなか、あるいはホームページや SNS を活用して情報発信を行っていくなど様々な施策を行っていきたく考えています。そして人数規模を拡大させることと並行して事業内容の質を高め、話し手、聞き手両方が参加して良かった、有意義な時間を過ごせた、そして何よりも天高の卒業生で良かったと感じてもらえるように今後もブラッシュアップを図っていきたく思います。聞き手として参加した会員が将来話し手として参加し後輩たちへ引き継いでいく、そんなサイクルが出来ることが願っています。■



▲第 3 回・就職道するべ 2022
7 月: セミナー / 8 月: ワーキング



▲第 4 回・就職道するべ 2023
7 月: Web でセミナー / 8 月お盆前後: 母校でワーキング



●連絡先 兵庫県立柏原高等学校同窓会
〒669-3302 丹波市柏原町東奥50
TEL 0795-72-1921 (月曜・木曜)

わが学び舎

かいばら
兵庫県立柏原高等学校同窓会



柏陵会館

進取創造 質実剛健 敬愛和協

■校訓 (昭和60年10月制定)

学校概要

兵庫県立柏原高等学校は明治30年、兵庫県で四番目の尋常中学校として設置され、以後100年以上にわたり、丹波市柏原の地で有為の青年たちを世に送り続けてきた。

昭和23年に現在の組織となり、平成31年には文部科学省指定事業「地域との協働による高校教育改革推進事業(グローバル型)」に指定されている。

沿革

(1) 兵庫県立柏原中学校

明治30年(1897) 4月 兵庫県柏原尋常中学校として創立。26日開校式

明治32年(1899) 4月 兵庫県柏原中学校と改称

明治34年(1901) 4月 兵庫県立柏原中学校と改称

昭和23年(1948) 4月 高等学校に昇格。兵庫県立柏原高等学校と改称

(2) 兵庫県立柏原高等女学校

明治35年(1902) 5月 柏原町立崇廣尋常高等小学校内に女子補習科設置

明治36年(1903) 4月 柏原町立柏原女学校設置。12日開校式

明治41年(1908) 4月 氷上郡立柏原高等女学校と改称。5月8日開校式

大正3年(1914) 3月 氷上郡立実科高等女学校と改称

大正7年(1918) 7月3日 実科高女制を廃止し、高女制に改組

大正11年(1922) 4月 兵庫県立柏原高等女学校に設立変更

昭和23年(1948) 4月 高等学校に昇格。兵庫県立氷上高等学校と改称

(3) 兵庫県立柏原高等学校

昭和23年(1948) 9月 兵庫県立柏原高等学校、兵庫県立氷上高等学校両行統合、兵庫県立柏原高等学校となる。定時制高等学校併置

昭和27年(1952) 4月 定時制山東分校設置

昭和31年(1956) 10月 創立60周年並びに普通科校舎増築落成記念式典挙行

昭和36年(1961) 3月 第33回全国高等学校選抜野球大会出場

昭和37年(1962) 4月 定時制青垣分校全日制に移行

昭和51年(1976) 4月 青垣分校、兵庫県立氷上高等学校として独立

昭和60年(1985) 10月 校訓「進取創造、質実剛健、敬愛和協」制定

昭和61年(1986) 4月 理数コース設置

平成9年(1997) 4月 創立100周年記念式典挙行、柏陵会館竣工

平成17年(2005) 4月 理数コースをベーシック・サイエンスコースに改組

平成20年(2008) 4月 ベーシック・サイエンスコースを知の探究コースに改組

平成26年(2014) 3月 文部科学省の「スーパーグローバルハイスクールアクションエイト校」に指定

平成29年(2017) 9月 創立120周年記念式典

平成30年(2018) 4月 「ひょうごスーパーハイスクール」に指定

平成31年(2019) 4月 文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(グローバル型)」に指定

令和4年(2022) 4月 文部科学省「新時代に対応した高等学校改革推進事業(普通科改革支援事業)」に指定

表紙写真・解説

「柏陵記念館」(旧柏原尋常中学校本館) 柏陵記念館は明治30年(1897)に、兵庫県柏原尋常中学校の本館として建設された。その後、校舎増築などに伴い二度の移築改修を経て現在に至る。

木造平屋建、寄棟造棧瓦葺、外壁下見板張。背面にベランダを付す。正面玄関の屋根(三角部分「ペディメント」)を「コリント式の木の円柱4本が支えており、上部の脇には鳩の彫刻が施されている。歴史的景観に寄与する擬洋風建築であるとして平成28年(2016)2月25日に「国登録有形文化財(建造物)」に認定登録された。

「ふるさとひょうご寄附金」

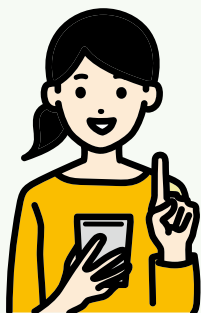
柏原高校では創立130周年記念事業として、兵庫県が設けている制度「ふるさとひょうご寄附金」の中の「県立学校環境充実応援プロジェクト」に則り、老朽化が進む「柏陵会館」の改修に向けて同窓会を中心に募金を呼びかけている。

▼問い合わせ先

柏原高等学校事務局 電話 0795-72-1166
柏陵同窓会事務局 電話 0795-72-1921
(月・木曜日)

キャッシュレスで、簡単決済！

同窓会費もスマホで払う時代！



会費等のお支払いがスマートフォンからできます。
郵便局よりも店舗数が多く、営業時間が長いコンビニの振込用紙を導入いただくことで、各校の入金件数は大幅に増加しました。今後はスマートフォンでの支払いも可能となり、より若い世代や外出の機会が少ない方からのご協力も見込むことができます。

1 アプリをインストール・起動



アプリをインストールし、表示される手順に沿って登録します。
登録完了後、同窓会費納付に必要な金額をチャージします。

2 バーコード読取



請求書払いを選択し、振込用紙に印字されたバーコードを読み込みます。

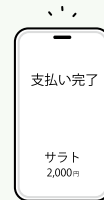
3 支払い



払込金額を確認し、支払手続きを行います。

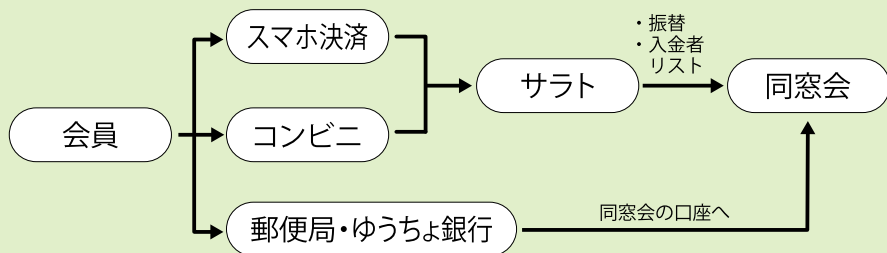
※支払先は「サラダ」となります。後日、同窓会口座へ振替えます。

4 支払い完了



支払手続き完了後、支払完了画面が表示されます。

会費の流れ



ご利用いただけるスマートフォン決済アプリ



※利用方法の詳細については、各アプリ事業者のHP等をご確認ください。

お問い合わせは弊社まで 本社 ☎ 0120-138-000 ✉ eigyo@salat.co.jp 東京支社 ☎ 0120-03-6381 ✉ tokyo@salat.co.jp



2023年8月

サラトメーリングセンター開設

ごあいさつ

感謝～おかげさまで創立 50 周年



株式会社サラト・代表取締役
福田 裕一（ふくだ・ゆういち）

●詳しくは、弊社ホームページから
URL : <https://www.salat.co.jp/>



昨年、弊社はおかげさまで創立50周年を迎えました。これもひとえに、母校の発展を願う同窓会の活性化にご尽力されているみなさまからの温かいご支援とご愛顧のおかげと深く感謝申し上げます。

社会のデジタル化、価値観の多様性、少子高齢化など時代の変化とともに同窓会の在り方も少しずつ変化しているように感じますが、弊社も多様化してゆく同窓会様のニーズに応えるべく創業当時から大きく進化してきました。

今日では約2000校の同窓会様とお取引いただいておりますが、同窓会活動の活性化に微力ながら寄与できたことを大変うれしく思います。中には創業当時から約50年に渡ってお付き合いいただいている同窓会様もあり、共に歩んできたことを振り返ると、奇跡的なご縁をいただいていることに日々感謝しかございません。

これからも同窓会様から必要とされる企業であり続けるため、社員一同日々努力してまいりますので今後とも変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

創業当時は、同窓会名簿を作ることが主な事業でありましたが、今では同窓会名簿の作成に加え、会報誌や総会案内状、各種事業のお知らせなどの印刷発送業務、ホームページの制作や制服オリジナルリカちゃんの販売などもお手伝いしております。さらには同窓会年会費や協力の金の徴収についても代行しており、これまで主流であった郵便局からコンビニ収納、クレジット決済、キャッシュレス決済へと多様なニーズに対応し、多

くの方々にご利用いただいております。特に一昨年から導入しました会費キャッシュレス決済サービスは場所や時間を気にせず決済が可能なため、会費納入者の利用率も年々上昇し大変ご好評をいただいております。これから導入をご検討の同窓会様はぜひお気軽に弊社担当営業員にご相談ください。

また弊社は昨年8月、新たにメーリングセンターを開設しました。業務の効率化スピード化を図るため、印刷機や封入機などの設備を増設し、さまざまなニーズにお応えできる体制を強化いたしました。花を咲かせるために種を撒くように、会報誌や総会案内、周年事業のお知らせなどの情報を発信し続け、同窓会の花を咲かせるお手伝いができることを楽しみにしています。

株式会社サラトは、これまでの50年に感謝し、これからの50年を見据え同窓会の発展のためにこれからも全力でサポートしてまいります。

サラトは昨年（令和5年）、全国174校の同窓会名簿を納品させていただきました。発行にご協力をいただきました同窓会・学校・会員の皆様にご心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

同窓会のチカラ 2024年号 / Vol. 16

(2024年4月発行)

編集・発行 株式会社サラト
本社・〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
TEL 0120-138-000 ● FAX 079-224-7746
東京支社・〒110-0016 東京都台東区台東4-18-7
シモジンビル5F
TEL 0120-03-6381 ● FAX 03-3832-6389
E-mail eigy@salat.co.jp
URL : <https://www.salat.co.jp>

SALAT
Salat Corporation



右から：
兵庫県・加古川東高等学校 / 兵庫県・親和中学校親和女子高等学校
群馬県・沼田女子高等学校 / 鳥取県・米子西高等学校

© TOMY

●制服オリジナルリカちゃんに
新しい仲間が増えました
(お問合せは弊社まで。)

